

【優秀賞】手紙部門

空を飛ぶたい

山梨県立甲府第一高等学校

2年 公文 ころ

「空を飛ぶたい」

そう思うようになったのは、きっとあなたのせいでしょう。

3年ぶりに会ったあなたは、以前とはまるで違う、別人のようでした。食道がんに罹ってから、大好きだった旅行にも散歩にも出かけなくなり、一日をソファの上で過ごすようになったそうですね。

「久しぶりに飛行機を見に行こうよ」

私が誘っても、

「ああ、今日は疲れたからまた明日な」

しんどそうにソファの上から答えるだけでした。

高知に帰る度に連れてってくれた、公園の展望台。幼い私は、そこから飛行機を見るのが大好きでした。あなたは私に小さい頃の夢はパイロットだったとか、でも親の仕事を継ぐためになれなかったとか、いろいろな話をしてくれましたね。私にはまだ少し難しかったけれど、あなたが飛行機を好きなことは子どもながらに分かりました。

そんなあなたを見ていたから、私が飛行機を好きになったのも、今この夢を追いかけているのも自然なことなのだと思います。

「死ぬまでにもう一度飛行機に乗りたい」あなたのその願いを叶えたい。私が操縦桿を握る飛行機に乗って、大好きな旅行に、おばあちゃんと二人で出かけて欲しい。だからお願い、その時まで。もう少し待ってて、おじいちゃん。